



KONICA MINOLTA

---

# コニカミノルタグループ 行動憲章 ガイダンス

---

<2016年1月 第2.0版>

## 【コニカミノルタグループ行動憲章】

企業は、公正な競争を通じて利潤を追求するという経済的主体であると同時に、広く社会にとって有用な存在であることが求められています。コニカミノルタグループは、全社員が本憲章の精神を深く認識し、社会的良識をもって行動します。

経営トップは本憲章の精神の実現が自らの役割と責任であることを認識し、率先垂範の上、全社員に周知徹底します。また、グループ内外の声を常時把握し、実効あるグループ内体制の整備を行うとともに、企業倫理の徹底を図ります。

### 1. 商品の有用性・安全性

私たちは、社会的に有用な商品・サービスを安全性に十分配慮して開発、提供し、消費者・ユーザーの信頼を獲得します。

### 2. 公正・透明な企業活動

私たちは、法令・社会的規範を遵守し、国際ルール、定款に則して行動し、公正・透明な企業活動を行います。

### 3. 社会とのコミュニケーションと情報の開示

私たちは、広く社会とのコミュニケーションを行い、企業情報を適時かつ公正に開示します。

### 4. 環境の保全

私たちは、地球環境問題の重要性を認識し、環境保全に向けて自主的かつ積極的に行動します。

### 5. 社会への貢献

私たちは、グローバルな視野を持ち、地域の文化や慣習を尊重し、積極的に社会に貢献します。

### 6. 社員の尊重

私たちは、社員のゆとりと豊かさを実現し、安全で働きやすい環境を確保するとともに、社員の人格、個性を尊重します。

### 7. 責任ある対処

本憲章に反するような事態が発生したときには、予め定めたコンプライアンス手続きに則り、経営トップ自らが問題解決にあたり、原因究明、再発防止に努めます。また、社会への迅速かつ的確な情報の公開と説明責任を遂行し、権限と責任を明確にした上、自らを含めて厳正な処分を行います。

2003年10月1日制定

## 【行動憲章 ガイダンス】

コニカミノルタグループ行動憲章をコニカミノルタグループで働く一人ひとりが実践する際の参考にするため、「コニカミノルタグループ行動憲章ガイダンス」を作成しました。

コニカミノルタグループの行動憲章は、全世界共通です。このガイダンスでは、行動憲章の各項目について、全世界のグループの一人ひとりが共通した理解をもち、実践できるように、望ましい具体的な行動を箇条書きで記載しています。また、行動憲章の各項目において触れられている、既存のグループ内の各種方針を本ガイダンスの最後に掲載しました。

グループ内の一人ひとりが、それぞれの国・地域において、このガイダンスを参考に、コニカミノルタの行動憲章を実践するように期待します。

---



## 1. 商品の有用性・安全性

私たちは、社会的に有用な商品・サービスを安全性に十分配慮して開発、提供し、消費者・ユーザーの信頼を獲得します。

1-1 お客様のニーズを把握するとともに、持続可能な社会の発展に資するよう、社会的に有用な商品・サービスを提供します。	実に対応し、その声を商品・サービスの改良や開発などに反映します。
1-2 商品・サービスの品質を向上させるとともに、各国の安全基準及び社内で定められた安全基準の双方を満たす商品・サービスを提供します。	1-5 お客様の安全に影響を及ぼすおそれがある事故が懸念される場合には、事故の発生・拡大を防止するべく迅速・適切な対応を行います。
1-3 お客様に対して、商品・サービスに関する適切な情報を提供します。	1-6 万一、商品・サービスに関して事故・トラブルが発生した場合には、迅速・適切な対応を行います。
1-4 お客様からの問い合わせなどには誠	「コニカミノルタ品質方針」を参照(※1)

## 2. 公正・透明な企業活動

私たちは、法令・社会的規範を遵守し、国際ルール、定款に則して行動し、公正・透明な企業活動を行います。

2-1 所在地の法律のみならず、適用あるすべての法令を遵守します。	公正・透明な企業間取引を行います。
2-2 国連グローバルコンパクト 10 原則、世界人権宣言など、各種の社会的規範を尊重します。 「国連グローバルコンパクト 10 原則」参照(※2)	2-4 コニカミノルタ調達方針を定め、公正・透明な購買取引・資材調達を行います。 「コニカミノルタ調達方針」参照(※3)
2-3 各国・各地域の独占禁止法を遵守し、	2-5 お取引先との交際においては、社会的常識・国際的通念からも、その枠を逸脱するようなものは自粛します。

- 2-6 贈答接待を要求しないことはもちろん、お取引先から社会的常識・国際的通念上過剰と思われるような贈答接待は受けません。
- 2-7 取引先からの依頼であっても、不正・違法な行為には荷担しません。
- 2-8 取引先に対しては、個人的な投資・融資はしません。ただし、公開された株式の購入は、この限りではありません。(2-11 参照)
- 2-9 違法な贈賄・政治献金は、国内外において一切行いません。
- 2-10 国際的な平和と安全の維持のため、安全保障輸出管理に関する法令・社内規則類を遵守します。輸出する貨物(製品、部品、設備等)或いは提供する技術(技術情報、ソフトウェア等)が大量破壊兵器の開発・製造やテロ活動等に用いられる恐れがある場合は、取引を行いません。
- 2-11 インサイダー取引規制の対象となる有価証券の売買は行いません。
- 2-12 自社の機密情報のみならず第三者の機密情報も重要であることを強く認識し、その保護に努めます。
- 2-13 情報セキュリティ基本方針を定め、情報セキュリティ確保に取り組みます。「情報セキュリティ基本方針」を参照(※4)
- 2-14 個人情報については、その取扱いに充分注意し、その保護に努めます。
- 2-15 第三者の知的財産権を尊重し、その侵害の予防に努めます。
- 2-16 適正な会計処理を行います。
- 2-17 社内で定められている規則・規程・マニュアル類を遵守します。
- 2-18 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力からの不当な要求には応じません。また、いかなる目的のためであっても、反社会的勢力を利用しません。

### 3. 社会とのコミュニケーションと情報の開示

私たちは、広く社会とのコミュニケーションを行い、企業情報を適時かつ公正に開示します。

3-1 法令等によって開示が求められているものはもちろん、それ以外でも、積極的・公正・タイムリーを旨として、有用で信頼性のある情報を開示します。

3-2 社内に対しても社外に対しても、嘘の報告をしたり、不正な事実を隠したりし

ません。

3-3 お客様、消費者、お取引先、従業員、株主、投資家、地域社会、行政、NPO、NGOなどの幅広いステークホルダーとの双方向コミュニケーションを促進します。



### 4. 環境の保全

私たちは、地球環境問題の重要性を認識し、環境保全に向けて自主的かつ積極的に行動します。

4-1 商品・サービスの全ライフサイクルにわたる環境への配慮により、環境負荷の低減に努めます。

4-2 地球規模の低炭素社会の構築に取り組みます。

4-3 循環型社会の形成に積極的に取り組みます。

4-4 化学物質による汚染の予防および環境リスク対策に取り組みます。

4-5 生物多様性の修復と保全に取り組みます。

「コニカミノルタ環境方針」を参照(※5)

## 5. 社会への貢献

私たちは、グローバルな視野を持ち、地域の文化や慣習を尊重し、積極的に社会に貢献します。

5-1 自社と社会の双方の利益を調和させ、社会との共生を目指します。	進めます。
5-2 地域の文化、歴史、慣習を尊重し、地域の発展に寄与します。	5-4 地域社会、行政、国際機関、(賛同できる)NPO、NGOなど、幅広いステークホルダーとの連携・協働を進めます。
5-3 寄付のみならず、自社の経営資源を活用した自主プログラムの実行など、社会ニーズに応じた社会貢献活動を推	5-5 社員の自発的な社会参加を支援します。



## 6. 社員の尊重

私たちは、社員のゆとりと豊かさを実現し、安全で働きやすい環境を確保するとともに、社員の人格、個性を尊重します。

6-1 創造的、効率的に業務を遂行できる環境を整え、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を推進します。	6-4 人権を尊重し、人種・国籍・性別・宗教・信条・障害等による不当な差別は行いません。
6-2 安全で衛生的な職場環境の整備に努めるとともにグループで働く一人ひとりの健康保持・増進に努めます。	6-5 児童労働、強制労働は認めません。
6-3 セクシャルハラスメント、パワーハラスメント、その他一切のハラスメント行為は行いません。	6-6 社員の多様性を尊重し、一人ひとりが能力と専門性を高め、成長を実現できるよう努めます。

## 7. 責任ある対処

本憲章に反するような事態が発生したときには、予め定めたコンプライアンス手続きに則り、経営トップ自らが問題解決にあたり、原因究明、再発防止に努めます。また、社会への迅速かつ的確な情報の公開と説明責任を遂行し、権限と責任を明確にした上、自らを含めて厳正な処分を行います。

7-1 経営トップは、本行動憲章に反するような事態に関して、i)未然に防止するための体制、ii)早期に発見するための体制、iii)問題解決にあたるための体制を整備します。

7-2 本行動憲章に反するような問題を発見した社員は、速やかに上司、会社内の適切な部署または内部通報窓口へ報告します。この報告によって、通報者が不利益を被ることがないように適切に対応します。

7-3 経営トップは、本行動憲章に反する重大事態が発生した場合には、事実調査、原因究明を行い、企業としての責任ある適切な対応方針・施策を打ち出します。また、社会に対して、事実関係、対応方針、再発防止策等について迅速かつ的確な説明を行います。

7-4 経営トップは、本行動憲章に反する事態に関して責任を明確にし、社内に定められたルールに則り、必要に応じて自らを含めて厳正な処分を行います。

## (※1) コニカミノルタ品質方針

私たちコニカミノルタグループは、お客様最優先と品質第一を徹底し、価値ある製品とサービスを提供することで、お客様の満足と信頼を最大にします。

私たちは、品質保証活動を信頼できるデータで定量的に把握・分析し、継続的な改善に繋げていくことを基本姿勢とします。

### ～測定なくしてコントロールなし～

#### 1. 業界トップの顧客満足の実現

私たちは、常に世の中の商品動向を分析し、独自の改善によって、高品質・高信頼製品とサービスを提供し、業界トップの顧客満足を実現します。

#### 2. お客様のニーズを先取りした商品の提供

私たちは、常にお客様の立場で商品の使いやすさを追求し、お客様のニーズの変化を的確に捉えた商品を提供します。

#### 3. グローバルな品質保証体制の構築と展開

私たちは、国内外関係会社を含むグループ全体で統一されたグローバルな品質保証体制を構築し、展開していきます。

#### 4. 製品全段階での品質マネジメントの実践

私たちは、製品・サービスの企画・開発段階から、生産、使用、廃棄に至るライフサイクルの各段階に関する品質を、定量的な指標に基づいて計測し、目標達成のマネジメントを実践します。

#### 5. 品質保証プロセスの継続的発展

私たちは、常に業務の改善・改革活動を自主的かつ積極的に展開し、品質保証プロセスの発展に努めます。

#### 6. 品質リスクの極小化

私たちは、品質問題の未然防止とお客様への迅速な対応によって、品質に起因するお客様と企業のリスクをなくします。

#### 7. 商品安全情報の積極的開示

私たちは、商品の安全性に関する情報を積極的に開示し、お客様に安心して使用していただくとともに社会に対する説明責任を果たします。

## (※2) 国連グローバルコンパクトの10原則

### 人権

原則 1: 企業はその影響の及ぶ範囲内で国際的に宣言されている人権の擁護を支持し、尊重する。

原則 2: 人権侵害に荷担しない。

### 労働基準

原則 3: 組合結成の自由と団体交渉の権利を実効あるものにする。

原則 4: あらゆる形態の強制労働を排除する。

原則 5: 児童労働を実効的に廃止する。

原則 6: 雇用と職業に関する差別を撤廃する。

### 環境

原則 7: 環境問題の予防的なアプローチを支持する。

原則 8: 環境に関して一層の責任を担うためのイニシアチブをとる。

原則 9: 環境にやさしい技術の開発と普及を促進する。

### 腐敗防止

原則 10: 強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗を防止するために取り組む。

### (※3) コニカミノルタ調達方針

私たちコニカミノルタグループは「新しい価値の創造」の経営理念のもと、社会の発展に寄与する革新的な製品・サービスを創出し、お客様の満足を追求します。

調達活動においては透明・公正を基本としてお取引先と強いパートナーシップを築き、ともに社会的責任を果たすことにより、持続可能な社会の実現を目指します。

#### 1. OPEN

私たちは、常に透明で信頼される姿勢でお取引先と接し、長期的かつグローバルな視点から目標の共有化ができる開かれた調達を実践します。

#### 2. FAIR

私たちは、自由競争の原則のもと、合理的な評価尺度に基づき取引を行うものとし、お取引先との相互利益を追求します。

#### 3. GLOBAL

私たちは、グローバルな視点から最適な地域での調達を実践します。

#### 4. COMPLIANCE

私たちは、各種法令、企業倫理、社内規則類を遵守します。

#### 5. ECOLOGY

私たちは、地球環境の保全、生態系への影響低減に率先垂範して努めることにより、国際・地域社会へ貢献します。

----- お取引先へのお願い -----

お取引先と強いパートナーシップのもと、お客様の満足を追求し、合わせて社会的責任を果たすため、お取引先の皆様には以下の項目への取組取り組みをお願いいたします。

#### (1) 優良な品質

各国・地域の安全規格の遵守を始めはじめとした製品・サービスの安全性の確保と、お客様の求める品質の維持・向上

#### (2) 適正価格

市場競争力のある価格の追求

#### (3) 需要変動への対応

需要変動に柔軟に対応できる安定供給体制の整備

#### (4) 法令、企業倫理の遵守

各国・地域の関連する法令、企業倫理の遵守

#### (5) 環境保全への対応

環境に配慮した事業活動、資材調達の展開

#### (6) 労働者の人権の尊重

児童労働・強制労働の禁止や人種・性別その他による差別禁止など、基本的人権の尊重

#### (7) 安全衛生

安全で清潔な労働環境の整備

#### (8) 情報セキュリティ

情報セキュリティの継続的改善

#### (9) 安定した経営基盤

継続的かつ安定した資材供給確保のため、経営基盤安定化の推進

### (※4) コニカミノルタ 情報セキュリティ基本方針

私たちコニカミノルタグループは、「新しい価値の創造」の経営理念のもと、社会の発展に寄与する製品とサービスを提供します。

私たちは、事業活動における重要課題の一つである情報セキュリティ(機密性、完全性、可用性)確保に向けて活動します。そしてこの考えのもと、私たちは重要な情報資産のリスクを測定・評価し、有効なリスク対応を行うことにより、情報セキュリティ課題の継続的な改善を推進することを取組みの基本姿勢とします。

#### ～測定なくしてコントロールなし～

#### 1. 情報セキュリティ活動の方向性

私たちは、事業活動において取り扱う情報資産の保護を私たちの責務と捉え、製品とサービスの継続的な提供と健全な事業の発展に努めていきます。

#### 2. 法的その他の要求事項の遵守

私たちは、情報セキュリティに関する国内外の法的要求事項、その他社会的な規範、社内基準並びに契約上のセキュリティ義務を遵守します。その上で、国際社会における合意に対しても公正に対応します。

#### 3. 情報セキュリティマネジメントシステム体制の確立

私たちは、事業リスク及びその環境変化を適切に把握し、対処方法を確立・維持するために、情報セキュリティマネジメントシステムの体制を確立し、情報セキュリティ目的目標を定め、維持、展開、見直しを図ります。

#### 4. リスクへの対応

私たちは、メーカーとして、開発・生産から販売・サービスに至る幅広いリスク対応を行います。リスクアセスメントは、情報資産の重要度の評価基準を設定し、その結果に従った管理を厳格に行います。

#### 5. 脅威からの保護

私たちは、情報資産の正当な利用・活用を妨げるような事故・障害・不正行為等の脅威から保護するために、あるいは、紛失・破壊・改ざん及び漏洩などを防止するために、適切な対策を講じます。

#### 6. 情報セキュリティ教育・訓練

私たちは、全ての従業員等に対して、必要な研修・訓練を行い、情報資産の適切な利用及び管理が、社会的な責務であることを認識し、業務を遂行します。

#### 7. 継続的改善

私たちは、情報セキュリティマネジメントシステムの枠組みのなかで、この情報セキュリティ方針及び管理策等を定期的及び必要に応じて見直し、継続的に改善・向上に努めます。

#### 8. 情報公開の推進

私たちは、利害関係者とのリスクコミュニケーションを行い、説明責任を果たします。本方針は、全従業員並びに外部関係者に公開します。

## (※5)コニカミノルタ環境方針

私たちコニカミノルタグループは持続可能な発展と利益ある成長を目指し、環境・経済・社会の観点を企業戦略に融合することで、会社運営のすべての面で人と環境に調和した企業活動を進めます。

私たちは「信頼性あるデータの確保と効果・影響の定量的な測定に基づき、環境課題の着実な解決に繋げること」を取り組みの基本姿勢とします。

### ～測定なくしてコントロールなし～

1. 地球市民として持続可能な社会を目指して  
私たちは持続可能な社会に対応するため、環境保全、経済成長、社会性(倫理性)のパフォーマンスの継続的改善の観点をもって、事業活動を行います。私たち一人一人は、地球規模の環境・経済・社会に対して知識を深め、見識を持ち、持続可能な社会を目指して責任ある行動を行います。
2. 法的及びその他の要求事項の遵守  
私たちは、国内外の法的要求事項及び社内基準を遵守します。また、事業を取り巻く利害関係者の要求や、国際社会における合意に対しても公正に対応します。
3. 製品・サービスの全ライフサイクルにわたる環境への配慮  
私たちは、製品に対する責任はメーカーにあるとの認識をもち、製品・サービスの全ライフサイクルにわたる環境への配慮により、環境負荷の低減に努めます。
4. 地球温暖化防止への取り組み  
私たちは、地球温暖化が地球共通の重要課題であることを認識し、製品・サービスのライフサイクルの観点をもって、グループのあらゆる事業活動に由来する温室効果ガス排出量の継続的削減を行います。
5. 循環型社会への対応  
私たちは、循環型社会の形成の為に企業としてのできる対応策を常に見直し、資源使用を最小化するとともに、ゼロエミッション活動を積極的に推進・継続します。また、使用済み製品や包装材料などの回収・再資源化を加速度的にすすめます。
6. 化学物質による汚染の予防及び環境リスクの低減  
私たちは、化学物質が健康・安全・環境へ多大な影響を有することを認識し、化学物質の汚染の予防を図ります。また、環境へのリスクを低減するために、化学物質の使用量抑制と排出量削減を継続して行います。
7. 情報公開の推進  
私たちは、事業を取り巻く利害関係者に対して情報開示及びリスクコミュニケーションを積極的に行い、説明責任を果たすとともに、社会との共生に努めます。本方針は社外に対し公開します。
8. 環境目的、目標の設定  
私たちは、本方針を実現するために環境目的、目標、マネジメントプログラムを設定・運用し継続的な改善を図ります。

コニカミノルタグループ行動憲章ガイダンス

発行 : 2011年 4月 1日 第1版

改訂 : 2016年 1月 第2版

編集 : コニカミノルタ株式会社 法務部